

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	中原区第3グループ(平間・玉川・西加瀬)	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	子ども未来局青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H26		H27		H26		H27	
	1 平間子ども文化センター ①年間延べ利用者数	39,843人	39,397人	②年間延べ利用団体数	662団体	652団体		
2 平間小学校わくわくプラザ ①登録者数	194人	206人	②年間延べ利用者数	13,643人	15,964人			
3 下河原小学校わくわくプラザ ①登録者数	116人	119人	②年間延べ利用者数	7,698人	7,601人			
1 玉川子ども文化センター ①年間延べ利用者数	29,201人	32,799人	②年間延べ利用団体数	393団体	388団体			
2 玉川小学校わくわくプラザ ①登録者数	241人	284人	②年間延べ利用者数	18,085人	20,105人			
3 下沼部小学校わくわくプラザ ①登録者数	425人	424人	②年間延べ利用者数	26,503人	24,605人			
1 西加瀬子ども文化センター ①年間延べ利用者数	29,370人	33,398人	②年間延べ利用団体数	393団体	359団体			
2 荏宿小学校わくわくプラザ ①登録者数	251人	255人	②年間延べ利用者数	18,153人	17,133人			
3 木月小学校わくわくプラザ ①登録者数	133人	150人	②年間延べ利用者数	7,404人	10,943人			
収支実績	単位:円							
1 収入 指定管理料	141,471,158							
2 支出								
人件費	128,831,001							
管理費	12,012,363							
事務経費	8,411,755							
その他経費	4,698,114							
合計	153,953,233							
3 差引	-12,482,075							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、活動や運営に反映。事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など地域を超えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、子ども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		子ども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由)複数館運営するスケールメリットを活かし、全施設及び区内10館の合同行事を実施し、複数館での共同開催ならではの体験や他の施設を利用することも達と交流を深めた。グループ合同行事としては野外活動合同宿泊キャンプでは、参加者の自主性や協調性を育み、学校や年齢の枠を越えた仲間づくりを促進した。平間子ども文化センターの「よちよち☆ひらまばあく」は土曜日に設定することで父親参加を促進する工夫を行った。玉川子ども文化センターの「センターまつり」では高校生ボランティアが参加するなど、より地域との交流を促進した。西加瀬子ども文化センターの「西加瀬えんにち」では、子どもが企画・運営を行うことで、子どもの主体性を尊重して事業を実施した。これらの取組の結果、グループでの子ども文化センターの年間延べ利用者は増加した。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
	支出に見合う効果が得られているか				
(評価の理由)会計処理・金銭処理については適正に行われている。受託20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、本部一括による業務委託契約、消耗品や備品の購入等の取り組みによる経費削減を図った。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	4	4
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8
<p>(評価の理由) 毎月のこども文化センターだよりやわくわくプラザだよりの発行やホームページでの情報発信に加え、乳幼児向け、中・高生向けの便りを作成・配布するなど、それぞれの対象に向けて効果的な広報を行った。接遇研修、受付対応研修を実施する等により職員の資質向上を図り、利用者への適切なサービスを提供した。特別な配慮を必要とする児童への対応のため、巡回相談員の巡回、事例検討会等を実施し児童一人一人の状況を把握した。特別な配慮が必要な児童の行事参加にあたっては、スタッフを増員する等の配慮を行った。また、障がい児対応研修、特別支援研修等を通じて職員の資質向上も図った。各こども文化センターは運営協議会を開催し、館の運営や事業内容について協議を行った。わくわくプラザ保護者懇談会を年3回開催し、保護者からの意見要望を運営に反映させた。地域の中学校や高校との連携により実施する「野外コンサート」(平間こども文化センター)や地域の科学ボランティアが講師となる「科学実験教室」(西加瀬こども文化センター)など、地域と幅広く連携して事業を展開した。西加瀬こども文化センターでは老人いこいの家との合築という特性を生かし、交流事業を実施した。館内の大掃除や花壇整備など、地域住民の協力を得て施設整備を行った。また特別な配慮を要する子どもについて学校と情報共有の機会を持つなど、学校との連携も行った。こども文化センターは、意見箱、行事ごとのアンケート、こども運営会議の開催により利用者のニーズを把握し、集会所での遊び方や遊具の使用方法についてのルールを決める等、事業運営に利用者の声に反映させた。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	川崎市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例第54条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	4	8
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) 適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、適正に職員が配置され、利用児童数や特別な配慮を必要とする児童などの状況に応じて、適時、職員を加配しており、円滑な事業運営が行われた。研修体制については、法人全体の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修など、体系的・計画的な研修が行われていた。特に、野外活動の事前研修として必要な知識やスキルを習得する「野外研修」を独自に行うなど、実際の事業に即した実践的な研修も実施した。個人情報等の取扱については、個人情報や電子データは鍵のかかる保管庫に保管されている。情報漏えいや紛失等の事実はなかった。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	3	3
災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか					
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 施設管理の点検チェックリストを活用する等、施設点検と安全整備につとめ、また迅速に修繕を行うなど、施設管理を適切に行った。事故の事例検討等を通じて事故の未然防止に努めた結果、事故件数が減少した。衛生管理についてのマニュアルを整備し、食材の提供に細心の注意を払う等、適切な衛生管理を行った。災害対応マニュアルの整備、消防設備点検及び消防訓練の実施により防災体制を整備した。災害伝言ダイヤルを取り入れた実践的な防災訓練も実施した。災害発生時の職員の備蓄品の確保・管理も適切に行った。</p>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>指定管理者以前からこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わった経験を生かすとともに、学校や公園との隣接、老人いこいの家との隣接といった施設の特性や地域性を生かした事業を展開した。事業には多くの市民や関係団体が参画し、地域の交流拠点として有効に機能している。グループ合同の野外活動宿泊キャンプでは、参加者の自主性や協調性を育み、学校や年齢の枠を越えた仲間づくりを促進し、子どもの成長の機会となっている。</p> <p>適切な施設管理及び研修等を通じた職員のスキルアップを行うことで、子どもの安全を守り、子どもが安心して過ごせる居場所づくりを行っている。職員が子どもと積極的にコミュニケーションをとり、意見を事業に反映していくなど、子どもの人権を尊重した施設運営を行ったことは評価できる。</p>
---

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるよう環境整備やスタッフのスキル向上に努め、利用者にとって各施設がより居心地の良い場となることを期待する。
---